W校中高等部だより

球技大会特集

平成二十五(二〇一三)六月十五日
ニューヨーク補習授業校W校

今年度もW校中高等部の球技大会が五月十八日に盛大に行われ、中高等部の生徒たちがさわやかな汗を流しました。

生徒たちは、クラスごとに色を決めたTシャツを着て、さらにそのTシャツには各クラスで考えた独特のデコレーションを施し、大会気分を盛り上げました。男女混合縦割り八チームに別れ、バスケットボール・バレーボール・ドッジボール・サッカーの四競技を行い、最後は紅白に分かれての全員参加の大ドッジボール大会も行いました。自分の得意な種目だけでなく、各種目、生徒たちは盛り上がって楽しみました。



前の週からチームごとに昼食をとったり、チームワークを高める活動(自己紹介ゲーム、並び替えゲーム、円陣パスなど)をしたりしてきたことで、グループ同士の顔や名前を覚え、高等部のリーダーを中心にまとまったチームができました。生徒たちが汗をかきながら得たものは、学年やクラスを超えた団結・協力・友情・相互理解。生徒たちにとって、この球技大会は補習校ならではの思い出作りの場となりました。

競技に参加した生徒一人ひとりの活躍する姿、チームを牽引した高等部のリーダーの頼もしい姿、普段の授業日には見られない新しい姿をたくさん見ることができました。

チーム編制

A(赤)	B(赤)	C(赤)	D(赤)	E(白)	F(白)	G(白)	H(白)
木原(高二) 石田(中三) 木村(中三) 小野(中二) ショベ(中二) 栗津(中一―二) 上口(中一―二) 田岡(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名	アギスキー(高一) 椋代(中三) 三井(中三) 森(中二) ハナガン(中二) 都甲(中一―二) ボールドウィン(中一―二) 荒木(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名	奥田(高一) 中前(中三) 溝渕(中二)阿部(中二) 三輪(中一―二) 奥田(中一―二) ハッチングス(中一―二) 太田(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名	松浦(高二) 中田(中三) 埒(中三) 伊丹(中二) 安倍(中二) 細野(中一―二) バント(中一―二) 三井(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名	滝田(高二)清水(中三) 長谷川(中二)幸保(中二) 武神(中一―二) 中西(中一―二) 福島(中一―二) 長瀬(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名	中村(高二)ハナガン(高一) 竹田(中三) 山本(中二)小高(中二) 松浦(中一―二) 鈴木(中一―二) デビッド(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名	安倍(高二) 三木(中三)グレイ(中三) 吉崎(中二) 岩佐(中一―二) 松野(中一―二) 椋代(中一―二) 山芳(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名	立石(高一) 鈴木(中三)前田(中三) 田中(中二)山口(中二) 清水(中一―二) 長浜(中一―二) 宮崎(中一―二) 男子四名 女子四名 合計八名

総合成績



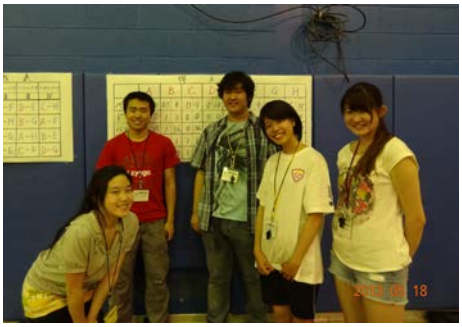
一位：Hチーム

二位：Eチーム

三位：Gチーム

競技ボランティアの皆さん

卒業生　小倉君、ベック君、山内さん、末さん、フォングさん



競技ボランティアを卒業生にお願いしました。卒業生たちは、この球技大会の準備のために来校し、ジムのバレーコート、バスケットコートのラインテープ貼り、ネット設営などの準備に献身的に取り組みました。大会運営のため、準備から進行、後片付けまで、影でこの大会を支えてくれた保護者会ボランティアさんたちにも感謝です。

大会を終えての感想

中等部一年一組　奥田　りりか

五月十八日は、中学生、高校生合同の球技大会でした。大会では、一チームに中学生と高校生が混ざっていました。A、B、C、Dの赤チームとE、F、G、Hの白チームの合計八チームで試合をしました。種目は、ドッジボール、バレーボール、サッカー、バスケットボールです。同じチームと全種目戦うのではなく、一種目に赤チームだったら白、白チームだったら赤と戦います。四種目全部が終わったら、最後に赤対白の大ドッジボールがありました。

まず、私たちCチームの一試合目は、ドッジボールでした。私は最初外野で、ボールが当たらずにすんで、ほっとしました。二回目は内野で、すぐにボールが当たって、びっくりしたと同時に、少し痛かったです。ドッジボールでは、二回とも負けてしまって、くやしかったです。

二試合目は、バレーボールでした。バレーボールでは、二組のハッチングスさんがとても上手く、びっくりしました。サーブも上手で、ネットすれすれに打って、得点をいっぱいかせいでいました。私はサーブも上手ではなく大変でした。この試合も負けました。

三試合目では、サッカーで、私は好戦的な性格ではないので、なかなかボールの方に飛んで行かず、少し私の性格が裏目にでてしまいました。この試合は唯一私たちが勝ちました。

四試合目は、バスケットボールで、私は後半に出ました。相手のチームに、すごく上手な人がいたので、結果はざん敗で、とてもくやしかったです。

最後に、赤対白の大ドッジボール大会があり、私は途中からボールに当たってアウトになってしまいましたが、とても楽しかったです。

球技大会が終わった後、みんなアイスをもらいました。私のアイスはストロベリー味でした。とてもおいしく、楽しい一日でした。



中等部一年一組　粟津　義太郎

初めての球技大会は、とても楽しかったです。今日、Aチームとして競ったスポーツ

の中で、一番の思い出はバスケットボールです。

バスケットボールは、最初の競技で、Gチームと対戦しました。僕は前半のチームに入りました。Gチームにはバスケットボールが上手で、背の高い先輩がいたので、なかなかボールが取れなくて大変でしたが、バスケットボールが苦手な僕も一回バスケットゴールに入れることに成功しました。その時は自分でも驚きました。後半には、四点差で負けていたのをパスなどのチームワークで、一気に盛り返して、最後には追い付きました。ゲーム終了まであと三十秒というところで、Aチームが二点入れた時はとても嬉しかったです。

バスケットボールの後の三競技―サッカー、バレーボール、ドッジボールでは負けてしまいました。それでも、やはり、上級生たちのことを知り、一緒に活動する機会として、スポーツを楽しむ場として、球技大会は面白かったと僕は思っています。来年も頑張って一位を目指したいです。

中等部一年二組　バント　ブランドン

僕は補習校での初めての球技大会で大事なレッスンを与えられました。僕のチーム「D」はチームで話し合って、予定を作りましたが、本番になると、パスができなくなったり、コミュニケーションがうまくできなくなってしまいました。バレーボールからサッカーまで全部の球技で負けてしまいました。いつも、僕のチームメンバーは中三の年上の先ぱいにしかパスなどしなかったので、少し、残念でした。



僕達のチームは大惨敗してしまったかもしれませんが、大事なメッセージをうけとめることができました。それは球技そのものに負けても、チームのみんなで楽しい、思い出になる時間を作る事が一番大事という事です。また来年、球技大会が行なう時が来たら、またチームと協力する事を楽しみにしています。

中等部一年二組　デイビッド　美雨

中学校には運動会がないのがとても悲しかったです。でも、球技大会があるのを知り、喜びました。球技大会では、バレーボール、バスケ、サッカーとドッジボールをやりました。私は、兄弟の中で一番年上なので、中学校の球技大会でどんな行事になるのか知りませんでした。

初めに、Tシャツ作りをしました。かなり時間がかかりました。私たちはTシャツの色の選択とロゴ作りを昼休みを使って完成しなければなりませんでした。Tシャツの色はピンクに決めました。男子も着なくてはいけなかったので、面白かったです。一年二組のロゴを「SMILE」と決めました。Tシャツを作るのには、二十分ぐらいかかりました。

私の一番好きな球技はサッカーの試合でした。疲れるけど、とても楽しかったです。私のチームは、Cチームと対戦しました。私は守備範囲があることをチームのみんなに説明しようとしましたが、誰も聞かなかったから、結局、私はすべての場所を走り回りました。同じ学年の松浦くんは、ボールをもらった時、必ず空振りしたり転んだりするので、私はいつも笑ってしまいました。

チームFはなんの賞ももらわなかったけど、球技大会はとても楽しかったです。また来年も頑張りたいと思います。

中等部二年　安倍　野映

先週の土曜日は補習校の一年に一回の球技大会でした。このイベントはみんなが集まって、スポーツやいろいろ楽しいことができるのでみんな楽しみにしていました。さらに、授業の時間もなくなって、アイスも食べられるので、私たちはけっこう喜んでいました。去年は中学一年生で初めてだったのでちょっと緊張していて、年上の人にかわいがられた感じがしました。ただし、今年は、もっと中二で慣れてきて、もっと友達を作ったり楽しんだりすることができたと思います。それと、グループの年下の子たちを元気づけたりするのもいい体験でした。

もうひとつ去年と違ったことがあります。去年私のグループは勝てたのに、今年は全部負けてしまいました。最初はみんな負けた事で悲しんでいたけど、みんながんばって競技を楽しんだことが大切だと理解しました。

私は球技大会はとてもいい事だと思います。楽しいだけでなく、普段話さない人と話せるし、チームワークのことも習えます。今年の球技大会はとても楽しくて、来年も楽しみです。



中等部二年　山口　香蓮

今年の球技大会、私は負けると思っていました。去年既に優勝していて、都合よく今年もそうなるわけはないと信じきっていました。でも事は都合よく運びました。結果的に、私は、紀伊ノ国屋の図書券十ドルを手に持ち、ニコニコしていました。今年も優勝できたのです。

私のチームは特にスポーツがうまい人が集まっているわけでもなく、かなり平凡なチームでした。バスケがうまい人、サッカーのチームに入っている人などはいましたが。私はどれも「これだけはいける。」と自信を持って言い切れませんでしたが、ちょっと本気が出せそうなのはバスケでした。

一回戦はサッカーでした。相手が意外と強く、苦戦しました。一時は負けるかと思ったくらいです。時間は残りわずかで、一点差、あと二点入らないと勝てない状況。でも、最後まであきらめずプレイしたところ、ギリギリでシュートが入り、逆転さよなら勝ちです。

これに続き、バレー、ドッジボール、バスケをやりました。バレーは三点差でギリギリセーフ、ドッジでは何点差かで勝ちました。そして最後の球技バスケでは、二十八点差、三十対二で勝利は確実でした。この時は嬉しさよりほっとした気持ちでした。大ドッジで私のグループの白は負けてしまいましたが、とっても面白かったので、負けたことは気になりませんでした。大人数でやるドッジは、ボールが二個あり、おまけに、外野が人数が多い分たくさんいます。ちょっと気を抜くと、隙を突かれて、ボールを当てられてしまいます。こんなドキドキする球技大会はやっていて楽しかったし、これからもあってほしいと思います。

最後の結果発表。点数ボードの前でみんなの方に向かって写真を撮りました。前へ行く時、クールでふつうの顔でいようと思ったものの、にこにこは顔からはずせませんでした。

私は、今年で二回連続で勝っている事になりますが、来年も勝って三連勝にしたいなと思います。



中等部三年　三井　寛子

今年初めて参加した球技大会。最近あまりスポーツをしなくなった私に、スポーツの楽しさを改めて教えてくれた。そして何より、私に新しい補習校の仲間を築き上げてくれた。チームメンバーのほとんどが初対面であまり上手く会話をすることすら出来なかった。しかし、やっていくうちに皆すぐに打ち解け合い、最後には声掛けやハイタッチなどもし、本当にチームのような存在になっていた。正直、初めはこんな初対面のメンバーでやっていけるのかと不安が大きかった。なので、こんな仲間という新しい存在が出来、とても嬉しかった。

結果は、一回目同点の二勝一敗で、おしい形になってしまったが、楽しむことが出来たので、誰も悔んではいなく、むしろ皆満足していた。来年もまた参加し、何か新しいことを得ることが出来たらいいなと思う。

中等部三年　木村　美奈

球技大会に参加するのが今年で三年目になります。でも、今年はわくわくするより、心配の気持ちが大きくなっていました。何か失敗をして、チームをがっかりさせたらどうしようと思いました。

私はAチームにはいっていました。リーダーとチームの仲間たちと仲良くできました。私をふくめて、体育系の人たちはあまりいなかったのですが、リーダーは気にしないでできるだけがんばろうと言ってくれました。

試合の結果はよくなかったです。三試合負けて、一つ引き分けでした。でも、かまいませんでした。いろんなミスがあっても、チームメイトたちは「ドンマイ」とか「次がある」と言ってみんなをはげましあいました。

私はスポーツが苦手ですが、球技大会に参加してよかったと思いました。みんなと協力しあって、一つのチームになるのは大切な経験でした。

高等部一年　アギスキー実奈

今年の球技大会は楽しみだったけれど、同時に怖かった。なぜなら今年は自分が後輩を引き連れ、リードするべき立場であったからだ。中一の時から毎回とても気の強く、リーダーシップがある先輩がちょうどリーダーで安心していたけど、自分がリードすることになると自信なんてまったくなかった。

大会の前の週にあったチームとの打ち合わせは兄の大学の卒業式で出席できなくて、当日急にチームメンバーとどう交流するかわからなかったし、先輩として見られてると思うとどういう風に思われるかが気になってどうしようもなかった。もともと私はリーダーシップとか人を率いることが苦手で、一人だけでリーダーの役割を果たすのが不安だった。緊張して、ばからしいと思われたかな。とか役割を忘れてとちって、たよりないな。とか競技で人にぶつかって邪魔に思われたかな。ばっかり考えてて不安が集るだけ。後輩とどう交流するかもよくわからなくて、たまに支配的だったりくらくらだったりちょっとふざけてたりして、今思えば後輩はあまりいい気分じゃなかったと思うとリーダーシップ失格だな、と思った。

どちらかというと自分は率いられ、流れについていくタイプだから切り替え

が難しかった。リーダーと後輩で差がつけられると自己意識が激しくなって本当の自分として話せてなかった気がした。

でも、四競技中二競技勝てて嬉しがってたみんなを見れてすごく嬉しかった。もう少し点が高かったら三位に入れたのにと惜しんでいた子もいたけど、ゴールするたびにハイファイブするみんなが楽しそうでよかった。

今年の球技大会はとても良い経験になったと思う。間違いもあれば成功もあった。来年のためになおしておきたいことを考えて、来年はもっとたよれるリーダーになりたい。

高等部二年　安倍　結花

今年の球技大会は、私の最後の球技大会だったからか、空気も心入れも前とちがったような気がします。中等部の頃は、先輩たちの後をただついて行くだけだったので、そんな私がグループのリーダーにまでなる日がくるなんて、時がたつのは早いなあ、と思いました。

私はあまりしっかりしているタイプではないので、最初は失敗ばかりしていました。名札を教室に忘れ、なかなか見つけられなかったり、その後はチームの名札をジムにおき忘れたりで、みんなをまとめるどころか、自分自身がバラバラでした。そんなちょっとだらしない性格だったからか、私は昔から人と接するのが下手で、一人一人に接するだけでなく何人もの下級生をまとめるなんて想像もつかない事でした。

でも、この球技大会を通して私はとても大切な事を学んだと思います。器用に人と話したり、物事をスムーズにこなしたりできなくても、一生懸命になって人と接すれば、その気持ちはちゃんとその人達に届くということです。

私のチームは全体的にはそんなに運動神経がいい子たちばかりではなかったのですが、みんなで力を合わせると、けっこうたくさんの試合で勝てました。私はスポーツの事はあまり知らなかったので、そういう事でみんなを引っ張っていくのはむりだったけれど、みんなのテンションが下がらないように、「がんばれ！」とか「ドンマイ！」というかけ声をずっとかけていました。すると、自然と私も、みんなもがんばろうという気になってきました。みんなで力を合わせて一つのことにむけてがんばるということは、すごいことだなあ、と思いました。たとえ、「球技大会でいい点をとる」とか「試合に勝つ」という小さな目的だったとしても、それはその時のみんなにとって大きな事で、同じ目的をはたした時はみんなで心から喜べます。失敗ばかりしていた私だったけれど、チームのみんなの心を一つにできて、本当によかったと思います。

